

静岡市都市山麓グリーンベルト内の大内モデル地区において 地元小学生親子とのタケノコ掘りを実施しました。

静岡市都市山麓グリーンベルト内の大内モデル地区（清水区大内）において、地元小学生親子と特定非営利活動法人「森と水辺を育てる会」等によるタケノコ掘りを実施し、土砂災害を防ぐ里山づくりを推進しました。

1 開催日時

平成27年4月26日（日） 9：00～11：00

2 場 所

静岡市都市山麓グリーンベルト整備区域内の大内モデル地区における杉谷津沢（すぎやつさわ）の斜面

3 主 催

特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』

4 参加者

『森と水辺を育てる会』、静岡市立清水高部小学校及び清水高部東小学校の児童と家族、県職員等 約120名

【参考】静岡市都市山麓グリーンベルトの概要

土砂災害危険箇所が366箇所と集中している静岡市の賤機山から興津川までの東西12kmの市街地北側山麓域を都市山麓グリーンベルト整備区域とし、そのうち竹林の拡大が著しい清水区大内地区をモデル地区に指定し、静岡県と特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』との間で協定を結び、土砂災害の防止、無秩序な市街化防止、都市景観の保全・創出を目指し、樹林帯の整備を行っています。

5 タケノコ掘りの様子



